

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年7月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100880
法人名	医療法人天百合会
事業所名	グループホーム優嬉
所在地	鹿児島市広木2丁目48-1 (電話) 099-284-7123
自己評価作成日	令和5年5月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

■理念にあるように地域社会の一員として自分らしく穏やかに暮らせるように、利用者様に寄り添って支援しています。母体がクリニックであり、訪問診療・訪問看護との医療連携が図れています。訪問看護の協力の元、看取りも行いました。

■洗濯物干しや裁縫。花壇の水やりといったご自宅で生活しておられた日常と同じことを施設でも行い、それぞれの利用者様がご自分の役割と思われることで、生きがいに繋がっています。

■毎月、日々の様子をコメントや写真を載せお便りにしています。ご家族様へ相談や報告をこまめに行っています。

■法人内での内部研修・外部研修(行政)をおこない、毎月のミーティングでも認知症や身体拘束防止などの研修会を開いています。

■近隣へ散歩へ行ったり、施設内のウッドデッキよりお花見、季節に合わせた行事も行い、季節感を持ち生活して頂いております。

■明るい雰囲気での環境作りを意識し、入居者様それぞれの好みに合った居室の飾り付けを行い、入居者様が安らげる居室づくりを行い、安心感を持ち生活して頂けるよう環境作りもしております。

■回覧板を利用者様と一緒に持参し、地域住民との繋がりもあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市役所谷山支所から数キロメートルの広木地区の閑静な住宅地に有料老人ホームやデイサービス事業所に隣接して平成24年に開設している。これら3事業所は法人本部を中心に情報の共有や職員研修、防災訓練の合同実施、災害時の協力体制等を構築している。少し離れた幹線道路には法人母体の医療機関や薬局、スーパーマーケット、コンビニ、多種の商店や事業所が立ち並んでいて利便性も良い。

管理者及び職員は、利用者の尊厳や特性、想いを大切に、ホームの理念を常に意識しながら利用者へ寄り添う姿勢でケアに努め、その人らしい平穏で生きがいのある暮らしの支援に取り組んでいる。朝礼やミーティングでケアの振り返りや意見交換を行い、毎月の接遇目標も設定して理念に沿ったケアの実践に努めている。

日頃から利用者の自己決定を尊重し、余暇時間の過ごし方も利用者の意向に添って趣味や特技等を柔軟に個別支援している。また、食事は利用者の何よりの楽しみで関心も高いことに配慮して、希望される刺身や握り寿司等も個別に提供している。コロナ禍に配慮して外泊や外食、ドライブによる花見等は現在自粛しているが、感染状況を把握しながら徐々に再開したい意向である。

管理者及び職員は、信頼と協力のある良好な人間関係の構築に努めており、日頃の業務の中やミーティング、個別面談等で要望や意見を気軽に申し合い、法人本部とも協議しながら運営やサービスの向上を図っている。勤務シフトには有給休暇取得の促進や個人的事情も配慮するなど働きやすい環境作りに取り組んでいる。法人による給与や手当の体制やバースデイ休暇や育児休暇等が整備され、本年度からはベースアップ加算の対象になる等、職員のモチベーションアップに繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月、理念に沿った接遇目標を立て、朝礼やミーティング時に共有し、施設内に目標を掲げ理念と接遇の意識付けを行っている。	利用者が社会の一員として、その人らしく穏やかな日々が過ごせるように寄り添った支援に日々努めている。毎日の朝礼やミーティングで理念の意義やケアの振り返り等を行い、具体的な月の接遇目標も設定して理念の共有と実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入しており、回覧板を利用者様と一緒に次の方へ持参している。コロナ禍で日常的な地域との関わりは十分に行えていない。	コロナ感染の拡大に伴い地域との交流も自粛することが多々あるが、回覧板で地域の情報を把握し利用者も一緒に次の世帯に届けたり、散歩時には地域の人と挨拶を交わし、また、農産物を頂くなど交流を図っている。また、地域住民からの認知症や高齢者福祉に関する相談や施設見学等には丁寧な対応に努めている。コロナの感染状況を把握しながら徐々に地域交流の機会を増やしたい意向である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域住民からの相談や施設見学も随時対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議を開催している。(R2.4～は郵送でのやり取り)利用者様の様子や支援報告、事故報告等を報告し、より良いサービス向上に繋げられるよう意見交換の場に生かしている。身体拘束適正化委員会を立ち上げ、運営推進会議の中で第三者も含めて身体拘束の情報共有や今後の再発防止に努めている。委員からの意見も頂き活かしている。	会議は民生委員や住民代表(自治会の会計担当者)、行政職員、家族等の委員で隔月毎に開催しているが、コロナ感染に配慮して令和2年度以降は書面会議で実施し意見を文書で提出して貰っている。委員からの意見や要望等はホワイトボードへの掲示で共有し、ミーティング時に協議して業務やサービスの改善を図っており、経緯は会議録に記載し次回の運営推進会議でも報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営等で不明な点は、状況に応じて市の担当者へ随時相談を行っている。運営推進会議では、長寿あんしんセンターの職員からのアドバイスも頂いている。	市役所本所の窓口に出向いたり電話、メール等で介護保険や各種制度、コロナ禍対応の相談や協議等を密に行い、担当者から助言や指導を貰うなど、日頃から協力関係を築いている。長寿安心センターとの連携も密で、市からのメールによる連絡事項の把握やズームによる研修にも参加して改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対しての研修を毎月実施し、職員間での意識の統一を図っている。身体拘束をしないために五つの基本的ケアを実践し、より良いケアの実現を目指している。開設から身体拘束ゼロを目指し、現在も実践できている。	身体拘束や高齢者虐待については、法人全体（7事業所）や毎月のミーティングの中で研修を実施し認識やケアの方法等を共有している。運営規定等にも明記されホームの指針を整備し、身体拘束適正化委員会も年6回開催して自由な生活の支援に取り組んでおり、スピーチロックを含む不適切なケアには、その都度、助言し合うなど日常的に改善に努めている。3人の利用者が離床センサーを家族の了解の基で利用し、成年後見制度を活用中の利用者（一人）もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を定期的に行っている。身体的虐待はもちろんだが、心理的・言語的虐待が発生しないように、職員間での意見のやり取りも行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所内の研修で権利擁護・成年後見制度の研修を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際は、重要事項説明書・同意書・運営規程・個人情報・ターミナル等の読み合わせを行い、分かりやすい説明にて理解と同意、交付ができるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置したり、毎月の請求書の中にご意見用紙を同封し、意見箱に投函しやすい工夫をしている。又、毎月お便りを発行し、口頭のみではなく写真や書面での報告もおこなっている。	利用者や家族には意見や要望を出し易いように、ご意見用紙でのやり取りや意見箱の設置、面会時の雰囲気づくりを心掛けている。利用者の思いは日頃の会話や仕草等で汲み取り、家族からは面会や電話、手紙等で、また、毎月写真や利用者の作品を添えたお便りでも利用者の生活状況を伝えて要望等の把握に努めており、ミーティングで協議して改善を図っている。本評価に伴う家族アンケートの結果からも家族の信頼度の高さが窺える。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング、日々職員との意見交換、個別面談、回覧板を活用して個人の意見を反映させている。	管理者及び職員は気軽に意見や要望が言い合える信頼関係の構築に努めており、業務の中やミーティング、個別面談時に要望や意見を出し合い、内容によっては法人本部とも協議しながら改善を図っている。日常的にケアへの助言や研修に取り組み、勤務シフトには有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等、働きやすい職場づくりに努めている。法人による給与や手当の体系やパースデー休暇や育児休暇等も整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤続年数や年2回の人事考課、目標設定や面談を行い、個々の仕事に対する意欲、取り組み等を適切に評価している。有給休暇やパースデー休暇資格や研修手当等の就業環境の配慮がなされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を作成し、法人全体の研修を行っている。毎月のミーティング行い部署内研修会を開いている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍のため、積極的な外部との交流は行えていないが、周辺居宅からの入居相談や他法人のグループホーム管理者と電話で相談し合うなどの交流は図れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族様との事前面談で、希望や要望、困っていることなどの情報を得て、後日、本人様との面談で傾聴を行い、安心感に繋がるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様との事前面談で、希望や要望を見極め、ここでの生活を安心・安全に過ごせるかしっかり話し合っている。場合によっては、他施設や他事業所への紹介も行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に、入居判定会を開催している。理事長や施設長、必要に応じて訪問看護や居宅支援事業所も参加して、家族様のニーズに沿えるように、安心感が持てる関係づくりに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心・安全はもちろん、「本人様の主体性」を大切に自立支援に努めている。共に生活を過ごす馴染の関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様へは可能な限り面会に来ていただきたいとお伝えし、利用者様だけでなく家族様も含めたトータル的な支援が大切と考えている。ご家族様と外出・外泊を利用して頂き家族の絆を大切にさせて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前からの病院受診などには、家族様の協力を得ながら対応していただいている。ご自宅が近い方もいらっしゃるため、周辺を散歩したりしながら馴染みの環境を感じていただけるように取り組んでいる。	各利用者毎の馴染みの人や場を共有し、家族の意向も確認しながら支援している。コロナ禍に配慮して外泊や外食等は控えているが、窓越しでの面会を実施し、隣接のデイサービス事業所での理・美容や周辺の散歩、家族との通院時には地域の人との挨拶や馴染みの街並み等を楽しんでいる。電話や手紙の取り次ぎに努め、毎月のお便りでも生活状況を伝えるなど関係の継続に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士の座席配置や洗濯物干し、洗濯物たたみ。縫物、お盆拭きやおしぼり巻き等家事動作を一緒に楽しみながら行えている。1人ひとりに目配り・気配り・心配りで孤立感が無いように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ここでの支援・生活が難しい場合は、当法人内外の事業所で生活を継続できるように随時検討・相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の希望・要望はもちろん、言葉にならないシグナルサインや表情・仕草・行動を読み取り、心の声に耳を傾けられるように取り組んでいる。家族様への報告・相談も随時行っている。	利用者の思いを日頃の会話や仕草等から汲み取り、その人らしい生きがいのある暮らしとなるように、目配り、気配り、心配りを心掛けながら支援に取り組んでいる。余暇時間の趣味や家事等の取り組みは自己決定を尊重し、体調や残存能力に配慮しながら個別に支援しており、裁縫の得意な利用者は手作りの作品を全利用者にプレゼントするなど生きがいのある日々を過ごしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様や医療情報提供書、ケアマネ等から情報提供を得ている。日々の関わりの中からも情報収集に努めている。家族様へ本人様の「人生歴」を伺い、本人様の情報収集に努めニーズに沿ったサービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状把握なしでは、利用者様に沿った支援ができないので、日々の記録類や申し送りを行い、職員間での情報共有に努め統一したサービス提供に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士意見を出し合い、計画作成者が中心となり介護計画を作成している。ミーティング時に課題の検討、家族様との相談・検討を行いケアプランに反映させている。	本人・家族の意向を尊重し、主治医、訪問看護の指示やモニタリング（3か月毎）、ミーティング時の職員意見を基に、生きがいや趣味等にも着目した介護計画を作成している。ケアの実施状況は申し送りノートや業務日誌等で共有し、利用者の状況変化時には実態に沿って計画を修正して改善に取り組んでおり、計画の内容は家族の理解も得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子を介護経過記録・業務日誌・バイタル表・水分表・排泄表といった記録類で情報共有を行い、介護計画の見直し時の情報として生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのニーズや要望に沿って、個別での対応をとっている。状態変化時はすぐに家族様と連絡を取り、最善の対応と一緒に導き出せるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の散歩でも、地域住人との挨拶が出来、回覧板持参時にも会話が出来る関係性が築けている。地域に開かれた施設、施設が地域資源になれるように常に意識している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様・家族様の意向により、現在はすべて当法人母体のクリニックが主治医となっている。約2週間に1度の訪問診療があり、通院の身体的負担も考慮している。主治医への信頼関係が大きい。	利用者毎の病歴を把握し本人・家族が希望する医療機関での受診を支援している。殆どの利用者が協力医療機関を主治医としており、2週間毎に訪問診療が実施され、専門医へは家族と連携して受診するなど適切な医療が受けられている。週1回の訪問看護により衛生や健康管理が徹底され協力医療機関との連携も十分で、利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内に看護師はいないが、医療連携体制にて、週に1度、訪問看護が健康確認を行う。看護師と職員とのカンファレンスを行い情報共有を行っている。また、主治医との相談・報告・指示が図れている。必要に応じて看護師へ連絡している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に病院側へ情報提供を行っている。また、必要性に応じて退院時カンファレンスにて退院後の生活の相談・検討を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	些細な心身状態の変化の度に、家族様との相談を行っている。医療ニーズが高い時は、主治医との相談を行っている。重度化の際も当法人内でトータル的に支えられるように取り組んでいる。入居判定会議で家族様にターミナルケアについて説明し、考え方や意向を伺っている。	重度化や終末期の対応は入所時や病状の変化に応じて本人や家族に説明して理解を得ている。利用者が重度化した時点で再確認し、主治医や家族と十分に話し合って可能な限り希望に添った支援をチーム体制で取り組んでおり、これまでに数件の看取りを実施している。重度化や看取りの研修の実施でスキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に緊急時対策を検討し、マニュアルを見直している。状態変化があらわれる可能性の方は随時対応について職員同士が共有を行っている。急変時は主治医、施設長、管理者報告、夜間はオンコール体制を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災避難訓練を実施。災害対策のマニュアルを作成、見直しを行っている。</p>	<p>消防署の協力を得て年2回夜間発生も想定した火災中心の訓練を有料老人ホームやデイサービス事業所と合同で取り組み、避難や通報、消火器等の取扱いの研修も実施している。日頃から災害パターンに対応した避難経路の確認や災害事例を基に意見交換するなど、認識の共有に努めている。スプリンクラーや自動通報装置等が設置され、連絡網の整備や業者による設備点検も行っている。BCPの作成については法人本部が主体的に作成中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	内部研修を通して、接遇面の意識・改善・実践を行っている。家庭的な信頼関係を心掛けており、個人を尊重しながら言葉かけや対応をしている。	人格の尊重やプライバシーの確保、守秘義務については接遇研修の実施や日頃のケアの中で認識を共有し、常に利用者への「目配り、気配り、心配り」を心掛けている。利用者の思いや個性を大切に、特技や趣味の取り組みを個別に支援している。居室への入室時は声掛けやノックを励行し、衣服の選択や余暇時間の過ごし方等は自己決定し易いような働きかけを行っている。情報紙への掲載は入所時に意向を確認しており、帳票等も事務所で適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の心身状態を観察し、言葉のみではなくシグナルサインに気づき、自己決定ができるように声掛けや環境を意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の1日の流れはあるが、その日の体調や気分を把握し、入浴や食事時間など利用者様主体で1日の流れを調整している。『業務優先ではなく利用者様優先』を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	バジャマ更衣や、外出時の洋服を一緒に選んだり、衣替え時も利用者様と一緒に、好きなお洋服を選びその人らしい身だしなみをして頂いている。髪を整えたり、髭剃りをすることで、メリハリのある日常生活を送り心身機能の改善にも繋げている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	以前は利用者様と一緒に調理や盛り付けなどしていただいていたが、感染対策で現在は中止している。厨房と連携し、利用者様の食べたい物を聞き、季節や行事に合わせたメニューを検討・提供している。	利用者の好みや形態、栄養バランス、アレルギー、季節感、代替食等に配慮したメニューを調理の委託業者の管理栄養士が作成し、隣接のディサービス事業所の厨房で調理した食事が届いている。おせちや誕生会等の行事食、手づくりのおやつ等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、刺身や握り寿司等の希望者には個別に提供しており、利用者もテーブル拭きやおしぼり巻き等を楽しみながら一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量の記録を随時行っている。主治医・栄養士のもと、塩分制限、水分制限、栄養補助食品、治療食にも対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの声かけ・見守り・介助によって、口腔内の清潔を維持している。夕食後は義歯洗浄を行っている。訪問歯科との連携も図っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表にて排泄パターンやトイレ回数の把握、安易なオムツ使用は避け可能な限りトイレ排泄を支援している。また、排泄時は羞恥心やプライド等の配慮も心掛けている。	利用者毎の排泄リズムや習慣を把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援し、2人の利用者が夜間のみオムツを使用している。心身の状況に応じた介護用品及びケアの方法を介護計画に反映させて改善に努めており、介護用品の減少等がみられている。便秘の予防に乳酸菌飲料の提供や水分の摂取、運動量等に配慮し、状況によっては主治医にも相談して薬も服用しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向がある利用者様には、家族様の協力で乳酸菌飲料を提供したり、主治医との連携にて下剤の種類や適量を検討している。個々に合わせて、日々の散歩にて便通を促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日勤帯の中で一人ひとりがゆっくり入浴してもらえるように心掛けています。ご利用者ごとにお好きなお湯の温度があらわれるため、事前の温度設定にも気を付けています。	週2～3回の入浴を基本に、清拭や足浴等も取り入れながら清潔を保持している。温度や時間、習慣、同性介助（対象者1人）等は意向に沿って柔軟に対応し個浴で楽しんでもらい、入浴後は水分補給や軟膏の塗布等を支援している。入浴をためらう2人の利用者には無理強いしないで時間や声かけ等の工夫で意欲を促しており、入浴が職員とのコミュニケーションの場にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に「適度な疲労感」を意識してレクリエーションや散歩を行っている。必要に応じて昼寝も促している。夜間不穏が強い方は、フロアでゆっくり話しながら安心して就寝できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をカルテに綴り、常に確認できるようにしている。服薬の変更時には、業務日誌等に記載し職員間での情報共有に努めている。服薬による心身状態の変化にも注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別レクリエーションの実施、「安心・安全」な生活の提供はもちろん、「趣味・生きがい」のある生活の提供を心掛けている。それぞれの嗜好品を職員が把握し、定期的に利用者様へ提供している。家事手伝い等役割を持つことで、張り合いのある生活に繋がっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に散歩や花壇の手入れ等、屋外での活動も行っている。コロナ禍であり、人の少ない時間に外出行事も行い、家族様と外出・ご自宅へ外泊も行っている。	コロナ禍で外出計画も十分には実施出来ない状況であるが、花壇の手入れや周辺の散歩を日常的に実施し、近く神社への初詣や、隣接の事業所での理・美容、通院時には車窓から街並みや景色を楽しんでいる。ウッドデッキでの花見、室内での体操やゲーム、季節に応じた作品作り等工夫してリフレッシュを図っている。コロナ禍の状況を確認しながら徐々に外出の機会を増やしたい意向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人様・家族様と十分話し合い、必要に応じて金庫預かりをしている。買物同行時は、自分で支払いができるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望時は事務所の電話を提供している。年賀状や家族様へのお手紙や作品を毎月の請求書と一緒にご家族様へお送りし支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>平屋建ての床暖房、木材をふんだんに使用し、吹き抜け空間を取り入れることで開放的な空間作りをしている。施設特有の臭いにも意識して換気を行っている。湿度や温度管理にも注意し、季節感を取り入れた貼り絵や飾り付けを行っている。</p>	<p>廊下やリビング等は明るく余裕のあるスペースが確保され、高い天井や天窓、床暖房が設けられている。随所に活花や季節感のある利用者の作品、展示物が飾られ、台所からは味噌汁の匂いが伝わるなど、家庭的な雰囲気である。テーブルセットやソファ、テレビ、空気清浄機2台、手指消毒剤等が利用者の動線に配慮して設置されている。清掃や空調、衛生管理等を徹底して快適に過ごせる環境になっており、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座席配置や利用者様同士がくつろげるソファや畳コーナーを設置している。畳コーナーにて洗濯物たたみを利用者様同士が自然と行えるように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地の良い空間作りの一環として、できるだけ自宅から馴染の深い家具等を持ってきて頂くように家族様の協力を得ている。花や家族写真などを飾り、一人ひとりに合わせた居室を意識している。	フローリングに掃出し窓の居室は明るく、エアコン、ベッド、タンス、ナースコールが備えられている。利用者は愛用していた寝具やテレビ、家族写真、遺影、小物等を持ち込み、自身の作品や長寿祝いで頂いた額等も飾って、その人らしい憩える居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ふらつきのある方の居室に家具を並べ替え伝い歩きができるようにしたり、DIYで手すりを設置したり、ベッド足元にセンサーマットを導入したりと安全面に配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない